



## 平成29年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月6日

上場会社名 株式会社乃村工藝社 上場取引所 東  
 コード番号 9716 URL <http://www.nomurakougei.co.jp/ir/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 修次  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレート本部長 (氏名) 吉本 清志 (TEL) 03(5962)1119  
 四半期報告書提出予定日 平成28年10月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年2月期第2四半期の連結業績（平成28年3月1日～平成28年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第2四半期	53,827	5.4	3,385	27.1	3,470	25.1	2,242	39.6
28年2月期第2四半期	51,062	△0.7	2,664	6.3	2,774	5.5	1,606	4.9

(注) 包括利益 29年2月期第2四半期 2,107百万円 (19.1%) 28年2月期第2四半期 1,769百万円 (9.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第2四半期	40.31	—
28年2月期第2四半期	28.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年2月期第2四半期	60,736	32,058	52.8	576.25
28年2月期	65,256	31,619	48.5	568.37

(参考) 自己資本 29年2月期第2四半期 32,058百万円 28年2月期 31,619百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年2月期	—	0.00	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	38.00	38.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2 平成29年2月期(予想)年間配当金には、通期連結決算における売上高および各利益の過去最高額の更新にもなう記念配当2円が含まれております。

### 3. 平成29年2月期の連結業績予想（平成28年3月1日～平成29年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	6.1	7,000	16.0	7,100	14.5	4,500	17.1	80.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

平成28年4月7日の決算短信で公表した通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては平成28年10月4日公表の「平成29年2月期 第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、【添付資料】P. 5「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、【添付資料】P. 5「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年2月期2Q	59,948,294株	28年2月期	59,948,294株
② 期末自己株式数	29年2月期2Q	4,316,102株	28年2月期	4,316,102株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年2月期2Q	55,632,192株	28年2月期2Q	55,632,342株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の成果や業績は記載の予想と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	12
(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注および売上高の状況	12
(2) セグメント別（ディスプレイ事業は制作品別）の生産高、受注および売上高の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	51,062	53,827	2,765	5.4
営業利益	2,664	3,385	721	27.1
経常利益	2,774	3,470	695	25.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,606	2,242	636	39.6

当第2四半期連結累計期間（平成28年3月1日～平成28年8月31日）におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、英国の欧州連合（EU）離脱決定や世界経済の減速の影響などにより、引き続き先行き不透明な状況となっております。

乃村工藝社グループ（以下「当社グループ」といいます。）を取り巻く事業環境におきましては、公共投資が底堅い動きとなるなか、設備投資に持ち直しの傾向が見られるなど比較的堅調に推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、エンドユーザーの視点に立ってお客様の事業繁栄を実現する「プロスペリティ・パートナー」への進化の追求に向けて、中期経営計画（平成27年2月期～平成29年2月期）に則り、「ナンバーワンの価値の連鎖」をテーマに、お客様への提供価値の向上を目指してまいりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は538億27百万円（前年同期比5.4%増）となり、前年同期を上回る実績を残すことができました。利益面におきましては、採算を重視した受注の徹底や原価低減への継続した取り組みなどが寄与し、営業利益は33億85百万円（前年同期比27.1%増）、経常利益は34億70百万円（前年同期比25.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億42百万円（前年同期比39.6%増）となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

①ディスプレイ事業

再開発にともなう商業施設の空間演出等を多数手掛けた複合商業施設市場をはじめ、ホテルの改装が堅調な余暇施設市場や展望台のリニューアルやオフィス関連工事を手掛けたその他市場などの売上が順調に伸びてまいりました。

この結果、ディスプレイ事業の売上高は524億88百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益32億64百万円（前年同期比29.2%増）となりました。

（単位：百万円）

概 要		売上高		増減額	増減率 (%)
市場分野名	当期主要プロジェクト	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間		
専門店市場 (物販店、飲食店、サービス業態店等)	アパレル、飲食関連などの店舗 内装制作等	21,438	19,361	△2,076	△9.7
百貨店・量販店市場	首都圏や関西圏における百貨店 の環境演出やリニューアル等	3,564	2,448	△1,115	△31.3
複合商業施設市場 (ショッピングセンター等)	再開発にともなう駅周辺の商業 施設における空間演出等	3,979	5,340	1,361	34.2
広報・販売促進市場 (企業PR施設、ショールーム、セール スプロモーション、CI等)	電機や自動車のほか、住宅関連企 業におけるショールームの展示制 作等	8,834	8,485	△349	△4.0
博物館・美術館市場 (博物館、文化施設、美術館等)	環境や科学、歴史に関する施設 の展示制作、指定管理者制度 (注)にもとづく施設の管理・運 営等	5,539	4,700	△838	△15.1
余暇施設市場 (テーマパーク、ホテル・リゾート施 設、アミューズメント施設、エンターテ イメント施設、動物園、水族館等)	ホテルやアミューズメント施 設、スポーツ施設のリニューア ル等	2,076	3,560	1,483	71.4
博覧会・イベント市場 (博覧会、見本市、文化イベント等)	行政や民間企業が主催するイベ ント等	178	1,124	945	531.1
その他市場 (上記以外の市場に係るもの) (オフィス、プライダル施設、サイン、 モニュメント等)	展望台のリニューアルや研修施 設・福利厚生施設の内装制作等	4,187	7,465	3,277	78.3
ディスプレイ事業		49,799	52,488	2,688	5.4

(注) 指定管理者制度：地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度。平成15年9月より施行されています。

②飲食・物販事業

博物館や科学館などのミュージアムショップや商業施設における飲食店・物販店の運営業務等を手掛け、売上高は13億39百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は1億53百万円（前年同期比12.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は607億36百万円（前連結会計年度末比45億19百万円減）、負債は286億78百万円（前連結会計年度末比49億57百万円減）、純資産は320億58百万円（前連結会計年度末比4億38百万円増）となりました。

総資産は、受取手形及び売掛金が減少したことと、前期末未成案件が完成し、たな卸資産が減少したことにより減少しております。

負債は、支払手形及び買掛金が減少したことにより減少しております。

純資産は、配当金の支払いがありました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加しております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の48.5%から52.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて23億円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は208億5百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金納付等がありましたが、債権回収が進んだこと等により43億62百万円の収入（前年同期は36億88百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、連結子会社の取得やシステム関連の設備投資により2億64百万円の支出（前年同期は24百万円の収入）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い等により17億63百万円の支出（前年同期は18億1百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、平成28年4月7日に公表しました通期連結業績予想を平成28年10月4日付で以下のとおり修正しております。

平成29年2月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年3月1日～平成29年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株あたり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	115,000	6,500	6,650	4,200	75.50
今回修正予想 (B)	115,000	7,000	7,100	4,500	80.89
増減額 (B-A)	—	500	450	300	—
増減率 (%)	—	7.7	6.8	7.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年2月期)	108,340	6,033	6,200	3,841	69.05

また、上記のとおり、通期の連結決算における各利益がいずれも当初公表しました業績予想の数値を上回るとともに、売上高および各利益がそれぞれ過去最高額を更新する見込みとなったことから記念配当を実施することとし、期末配当予想を従来予想（普通配当34円）より4円増額の1株当たり38円（普通配当36円／記念配当2円）に修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成28年10月6日）公表の「平成29年2月期（第80期）期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報からの判断にもとづき作成したものであり、さまざまな不確定要素が内在しております。今後、当社グループを取り巻く市場の経済情勢などにより、実際の業績は、上記の業績予想と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、㈱スクエアの全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （会計方針の変更）

#### 企業結合に関する会計基準等の適用

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。

また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）および事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

#### 平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物付属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,605	20,805
受取手形及び売掛金	20,472	15,115
たな卸資産	8,754	7,346
繰延税金資産	1,176	1,265
その他	690	896
貸倒引当金	△29	△4
流動資産合計	49,670	45,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,896	9,882
土地	5,398	5,398
その他	2,109	2,127
減価償却累計額	△6,973	△7,146
有形固定資産合計	10,430	10,263
無形固定資産	1,949	1,993
投資その他の資産		
投資有価証券	2,132	2,025
その他	1,423	1,372
貸倒引当金	△350	△342
投資その他の資産合計	3,205	3,055
固定資産合計	15,586	15,312
資産合計	65,256	60,736



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,838	14,087
未払法人税等	1,777	1,322
前受金	3,137	3,315
賞与引当金	1,180	1,570
工事損失引当金	81	138
その他の引当金	63	73
その他	3,646	2,162
流動負債合計	27,724	22,671
固定負債		
退職給付に係る負債	5,020	5,108
その他の引当金	119	122
その他	771	776
固定負債合計	5,911	6,007
負債合計	33,636	28,678
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,497	6,497
資本剰余金	6,861	6,861
利益剰余金	18,861	19,435
自己株式	△1,091	△1,091
株主資本合計	31,128	31,702
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	345	277
土地再評価差額金	507	520
為替換算調整勘定	184	75
退職給付に係る調整累計額	△545	△517
その他の包括利益累計額合計	490	355
純資産合計	31,619	32,058
負債純資産合計	65,256	60,736

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
売上高	51,062	53,827
売上原価	42,004	43,597
売上総利益	9,058	10,229
販売費及び一般管理費	6,393	6,844
営業利益	2,664	3,385
営業外収益		
受取利息	7	2
受取配当金	31	25
仕入割引	45	49
その他	32	30
営業外収益合計	115	107
営業外費用		
支払利息	4	0
為替差損	—	21
その他	0	0
営業外費用合計	5	23
経常利益	2,774	3,470
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除売却損	5	2
投資有価証券評価損	5	—
事業構造改善費用	135	—
特別損失合計	146	2
税金等調整前四半期純利益	2,628	3,469
法人税等	1,021	1,226
四半期純利益	1,606	2,242
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,606	2,242

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)
四半期純利益	1,606	2,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	130	△67
為替換算調整勘定	10	△108
土地再評価差額金	24	12
退職給付に係る調整額	△3	28
その他の包括利益合計	162	△135
四半期包括利益	1,769	2,107
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,769	2,107

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,628	3,469
減価償却費	448	489
賞与引当金の増減額 (△は減少)	147	384
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	159	152
その他の引当金の増減額 (△は減少)	17	48
受取利息及び受取配当金	△38	△27
支払利息	4	0
事業構造改善費用	135	—
売上債権の増減額 (△は増加)	6,629	5,388
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△116	1,398
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,088	△3,700
未払金の増減額 (△は減少)	△1,032	△1,369
前受金の増減額 (△は減少)	336	183
その他	111	△298
小計	5,343	6,121
利息及び配当金の受取額	48	27
利息の支払額	△4	△0
事業構造改善費用の支払額	△120	—
法人税等の支払額	△1,578	△1,785
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,688</b>	<b>4,362</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△315	△109
有形固定資産の売却による収入	1	7
無形固定資産の取得による支出	△634	△159
投資有価証券の取得による支出	△121	△58
投資有価証券の償還による収入	1,050	50
短期貸付金の回収による収入	—	81
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△223
その他	44	147
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>24</b>	<b>△264</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△262	—
配当金の支払額	△1,440	△1,660
自己株式の取得による支出	△0	—
その他	△97	△102
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,801</b>	<b>△1,763</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	△34
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,921	2,300
現金及び現金同等物の期首残高	15,504	18,505
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,426	20,805

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ディスプレイ 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	49,799	1,262	51,062	—	51,062
セグメント間の内部売 上高又は振替高	3	11	15	△15	—
計	49,803	1,273	51,077	△15	51,062
セグメント利益	2,526	174	2,700	△36	2,664

(注) 1 セグメント利益の調整額△36百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ディスプレイ 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	52,488	1,339	53,827	—	53,827
セグメント間の内部売 上高又は振替高	17	10	27	△27	—
計	52,506	1,349	53,855	△27	53,827
セグメント利益	3,264	153	3,417	△32	3,385

(注) 1 セグメント利益の調整額△32百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

4. 補足情報

(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注および売上高の状況

①生産高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	21,469	18,756
百貨店・量販店市場	3,679	2,363
複合商業施設市場	4,377	5,551
広報・販売促進市場	9,168	8,306
博物館・美術館市場	4,488	3,851
余暇施設市場	2,178	4,155
博覧会・イベント市場	1,005	453
その他市場	3,541	7,328
小計	49,908	50,767
(飲食・物販事業)	—	—
合計	49,908	50,767

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。  
 2 生産高の金額は販売価格によっております。  
 3 飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

②期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
専門店市場	24,533	12,934	20,023	10,392
百貨店・量販店市場	3,997	1,845	2,452	930
複合商業施設市場	4,136	4,180	8,374	7,534
広報・販売促進市場	10,815	5,254	8,957	3,765
博物館・美術館市場	4,608	6,210	5,909	7,192
余暇施設市場	2,887	1,990	4,718	4,483
博覧会・イベント市場	737	1,276	871	422
その他市場	4,241	4,035	9,436	7,118
小計	55,957	37,727	60,743	41,839
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	55,957	37,727	60,743	41,839

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。  
 2 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③売上高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	21,438	19,361
百貨店・量販店市場	3,564	2,448
複合商業施設市場	3,979	5,340
広報・販売促進市場	8,834	8,485
博物館・美術館市場	5,539	4,700
余暇施設市場	2,076	3,560
博覧会・イベント市場	178	1,124
その他市場	4,187	7,465
小計	49,799	52,488
(飲食・物販事業)	1,262	1,339
合計	51,062	53,827

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。  
 2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。

(2) セグメント別 (ディスプレイ事業は制作品別) の生産高、受注および売上高の状況

①生産高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	20,568	20,905
展示制作	12,002	12,014
環境演出制作	2,296	2,886
販促品制作	533	255
企画・設計・監理	5,361	4,984
その他	9,147	9,719
小計	49,908	50,767
(飲食・物販事業)	—	—
合計	49,908	50,767

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。  
 2 生産高の金額は販売価格によっております。  
 3 飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載していません。

②期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
内装制作	24,312	16,499	26,031	19,301
展示制作	14,360	10,080	14,410	9,377
環境演出制作	2,238	945	3,243	2,242
販促品制作	489	57	264	68
企画・設計・監理	5,179	5,099	5,538	5,963
その他	9,376	5,045	11,254	4,885
小計	55,957	37,727	60,743	41,839
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	55,957	37,727	60,743	41,839

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。  
2 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③売上高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	20,407	21,282
展示制作	11,834	13,110
環境演出制作	2,297	2,893
販促品制作	559	241
企画・設計・監理	4,926	4,593
その他	9,773	10,366
小計	49,799	52,488
(飲食・物販事業)	1,262	1,339
合計	51,062	53,827

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。  
2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。